



(株)リンク

維-16

支柱路面境界部調査システム キズミー1

NETIS:KT-130057-V

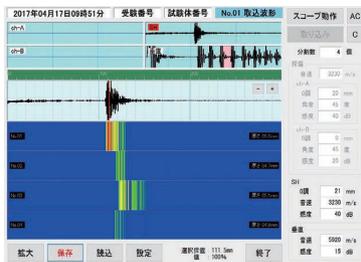
近年、全国各地で鋼製の照明柱、標識柱、信号柱等（以下、鋼製支柱）の倒壊や劣化した標識柱に、車両が接触し倒壊するなどの人的被害や車両事故が多数報告されています。これらの多くは高度成長期にインフラ整備の一環として、鋼製支柱の埋設が行われましたが、経年による腐食による減肉や、繰り返し応力による材料割れなどが原因と思われます。早急な、鋼製支柱の調査及びメンテナンスが必要となっています。《支柱路面境界部調査システムキズミー1の特徴》・掘削せずに鋼製支柱埋設部の腐食調査が可能・約2名の調査員で行うため道路規制等が削減可能・教育を受けることで現場技術者が調査可能・簡易型超音波調査装置なので持ち運びが容易



支柱路面境界部調査システム キズミー1

担当部署 非破壊事業部 担当者 徳永 政弘

Tel 072-257-8730 Fax 072-257-8731



キズミー波形

こちらは腐食の状態がわかりやすい様にカラー分けしている。どの部分に腐食があるかという判断も明確になる波形となっている。



2人1組作業

簡易超音波調査装置なので持ち運びもらく。



地際部写真

路面境界部に滞水しやすく、路面胸部にさび汁が見られる場合には、外観の見た目以上に内部では腐食が進行していることがある。